

2025/11/12

とわ
青春を永遠に
学びを広げ深める
"和"と"輪"

- ・修学旅行のテーマ(→)の設定
- ・旅行通信”和”の発行
- ・2日目 PM USJ に行く工程の決定
- ・USJ 内での過ごし方のルールの設定
- ・修学旅行の服装についてのアンケート+ルールの設定
- ・保護者説明会用の動画の作成
- ・各クラスでのクラス別コースの決定
- ・新幹線内のお弁当の内容の決定
- ・旅行委員発案の企画の(先生スタンプラリー+俳句写真コンテスト)の運営
- ・解団式での添乗員さん・看護師さんへの手紙の作成

ルールに載ってなく困ってしまったとしても
臨機応変に行動しましょう
ルールを守ってUSJを楽しみましょう!!

<非認知能力の育成>

事後アンケートで「この修学旅行で身に着いたと思う非認知能力を選択してください(複数選択可能)」という質問を行いました！修学旅行中にどんな非認知能力を感じたのかなと思いアンケートしました。結果はご覧の通りです！やはり協働力・計画力などの「他者との関わりを意識すること」や「柔軟に対応すること」に特化した項目が上位になりました！「特にどの場面で発揮されたか」という質問では圧倒的に「班別行動」とい回答が多かったです！修学旅行は2学年全員で行く旅行です！自分だけが楽しいという気持ちでは成り立ちません！みんなの幸せを願うことが well-being です！「楽しい」という感情だけでは終わらないような大事な“学び”がおののあったのではないのでしょうか！人それぞれ感じ方は異なりますがなにか“経験値”として得られるものがあれば大成功だと思います！

順位	身についたと回答した人の割合	身についた非認知能力
1位	66.1%(121人)	協働力(周囲の人たちと協力的に業務を進める力)
2位	57.4%(105人)	実践力・実行力・GRIT(計画に沿った実践・行動する力・やり抜く力)
2位	57.4%(105人)	計画立案力(問題解決のために効果的な計画を立てる力)



天候に恵まれたこともあると思いますが、生徒たちの満足度が高い修学旅行になったと感じています。旅行委員が事前に縁の下の力持ちとなってルールメイキングをしてくれたり、先生とクラスの橋渡しをしてくれたりと頑張ってくれたおかげで色々なことがスムーズに進みました。ありがとう。それに加えて、全員が修学旅行を成功させようという思いを持って行動してくれたことが大きなトラブルなく4日間過ごせた要因になっているとも感じました。日常から離れてストレスもあったと思いますが、それに上手に向き合い自己をコントロールして自分の責任を果たそうとしているのがひしひしと伝わってきました。前南生の非認知能力はしっかりと育っています。これからの学校生活でも存分に発揮してほしいと思います。2学年主任 高田

今回、修学旅行委員長を務めました。最初から最後までみんなの楽しそうな顔が見られたので、とてもやりきったと感じています。ここで私の旅行で、一番思い出に残ったことを紹介します。修学旅行の学から逸れてしまいましたが、ホテルの部屋で友達とバカふざけをして笑い合った瞬間です。前までの友達との仲を大陸棚と例えると、今ではマリアナ海溝です。きっとあの夜は一生忘れません。修学旅行委員長 2-1 修学旅行委員長 高橋 伶弥

修学旅行を終えて、あっという間だったけれど、とても充実した時間だったと思います。正直出発前は、勉強よりも友だちと楽しむことの方が大きい旅行だと思っていましたが、実際に行ってみると、歴史を感じたり、人との関わり大切さに気づいたりして、想像以上に学びの多い旅になりました。特に印象に残っているのは、初めて生で見た原爆ドームです。写真で見ただけではわからない、土地に残る人々の思いや当時の空気を感じられました。旅行中は疲れることもありましたが、それも含めて良い思い出です。今回の経験を通して、仲間と協力することや、知らないことに興味を持って学ぶ姿勢の大切さを実感しました。これからの学校生活でも、この気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。2-2 修学旅行副委員長 佐藤 泰之輔

それでは最後に、「団長」から一言いただきましょう！

☆団長より☆今回の修学旅行に当たり、計画、企画、ルールメイク等、色々な場面で中心となって動いてくれた修学旅行委員の皆さんに感謝します。与えられた修学旅行ではなく、皆さんが自分たちで創り出した修学旅行になったと感じました。普段の学校生活を考えると3泊4日を学年全体で過ごすということは簡単なことではありません。一人ひとりが周りの人を意識し、協力しようとする態度を示すことによって初めて楽しい旅行となります。今回はみんなが「楽しい」と感じる修学旅行になったのではないかなと感じています。多くの人にとって、高校の修学旅行は人生最後の修学旅行となります。今回の修学旅行が皆さんにとって思い出深いものになってくれるとうれしいです。(校長 原 拓史)